

浄信寺通信

平成25年夏号

名古屋市中村区名駅五丁目二〇番三
宗教法人浄信寺収益事業部羽塚孝和
TEL (〇五二) 五六一一一七三六
頒布価格年 千三百円
(檀信徒会費)

スリランカ仏教遺跡

シギリヤ・レディを尋ねて

紀元前五世紀頃、インドで生まれた仏教は、ほどなくしてスリランカに伝えられた。この国の人々の心に深く根を下ろす事になった。

スリランカの仏教遺産を是非巡ってみたいと思ひ、二〇一三年三月キャ

セイパシフィック航空で香港を経由して、十二時間かけてスリランカの首都コロンボに降り立った。

インドの南、インド洋に浮かぶスリランカ(シンハラ語で「光り輝く島」の意味)。この国最大の都市がコロンボである。二〇〇〇年以前からローマ・アラブ・中国と交易の地として繁栄してきた。

十六世紀には、ポルトガル人が香料貿易のために砦を築き、十七世紀にはオランダに占領された。

※ 遺跡公園入口からのシギリヤ・ロック遠景

一八〇二年にイギリスのセイロン植民地の首都となり、第二次世

界大戦中には、日本海軍の艦載機によるセイロン沖海戦の一環としてコロンボへの空爆も行われた。

一九四八年セイロン(一九七二年にスリランカと改称)が、独立して首都となった。その後、首都をスリジャヤワルダナプラコッテへ遷したが、国会議事堂などの一部を除いて行政府、司法府などの首都機能の多くはコロンボに残り、現在も実質的な首都として機能している。

一九八三年から二十六年間におたつて、多数派で仏教徒のシンハラ人と、少数派でヒンズー教徒が多いタミル人との間で、繰り広げられたスリランカ内戦も、二〇〇九年五月政府軍が、タミル・タイガー(解放の虎)を軍事力で制圧して終結した。外国の旅行者には、風光明媚な光輝く島としか映らないスリランカではあるが、内戦の後遺症はまだ完全には癒えていない印象を受けた。

今回の研修旅行の訪問先としては、(いずれも世界遺産登録)

インドのブッダガヤで悟りを得



※シギリヤ・レディ「the Sigiriya Maidens」

平和公園墓参のご案内

日時：8月12日(月)

13日(火)

午前8時頃～午後1時頃



※ シギリヤ頂上宮殿跡 (スリランカ観光庁HPより)

たゴータマ・シツダールタが、座つて瞑想していた金剛座の背後に繁る菩提樹から、株分されて、アショーカ王の妹のサンガミッタによって、当地にもたらしたとされスリー・マハー菩提樹が繁るシンハラ王朝の最古の都、聖地アヌラーダプラ（一九八二年登録）。

□

偉大な王のもと、花開いた仏教文化と、豊かな人々の暮らし、その往時を偲ばせる仏教遺跡群が多数残るシンハラ王朝第二の都ポロンナルワ（一九八二年登録）

今もこの国の人々の心の拠所になっているブツダの糸切り歯を、安置している仏歯寺（ダラダー・マリガールワ寺院）。この仏歯寺では、毎年七月の満月を中心に仏歯が象の背中に乗せられて、百頭の象と共に町中を練り歩く。ペラヘラ祭には、国内外から多数の人々が訪れる。町全体が世界遺産にも登録されているシンハラ王朝最後の都キャンデイ（一九八八年登録）。

□

シギリヤ（一九八二年登録）

これらの仏教遺跡の中で、スリランカの中部州のマータレーにあるシギリヤ遺跡について述べてみたい。五世紀後半、この岩山に、王宮を築いたのは、シンハラ王朝の悲劇の王カッサパ一世。カッサパは平民出身の母親から生まれた長男ではあったが、王位継承権は、正室で王族出身の母を持つ弟のモツガラーナにあった。野心家だったカッサパは、王の甥であり軍指令官でもあったミガラへの支援を得て、弟を追放し父をも殺害。四七七年王位に就いたのである。

仏教で在家信者が守るべきな五戒

の一つに「不殺生戒」がある。親殺しはそのなかでも極めて重い罪である。その苦しみと復讐を恐れてカッサパ一世は、それまでの首都であったアヌラーダプラから、天然の要塞の地であるシギリヤへと遷都した。悔恨と贖罪の日々を過ごすのであるが、亡き父王が、このシギリヤの頂上に宮殿の造営を夢見ていた事を知り、宮殿を造営して、亡き父を供養する決意をするのである。即位七年後にシギリヤロックの頂上に当時の技術の粋を集めて造られた王宮が完成した。王宮跡の庭園に残る貯水池は、雨水を貯めたのではなくて、風車の力で地下水をくみ出して使用していたと言われている。シンハラ王朝が二〇〇〇年以上の永きにわたって繁栄した秘密は、アンコールワットで有名なクメール王朝と同様に、水を巧みに利用する技術に長けていたと考えられている。その痕跡は、今もシギリヤ・ロックから見渡す庭園に広がる無数の水路と、噴水に見る事が出来る。

弟の反撃に恐々としたカッサパ一世。頂上から巨石を即座に落す仕掛けが、この王の悲劇を物語っている。都が造営されて十一年後、南イ

ンドに亡命していた弟のモツガラーナが引き連れてきた軍隊に攻め込まれ、カッサパは短剣を喉に刺して自害して四九五年シギリヤは陥落した。王位についたモツガラーナはシギリヤを仏教僧に寄進し、再び都をアヌラーダプラへと移した。シギリヤは一三世紀から一四世紀頃まで僧坊として存続するが、徐々に衰退。その後は一六世紀から一七世紀にキャンデイ王国がこの地を分営地として利用するまでの間、記録は残されておらず、また同王国の衰退の後に再び放棄され密林に埋もれ忘れ去られた。

建設から一四〇〇年の後、イギリス植民地時代の一八七五年に、この



※ 古都ポロンナルワの仏教遺跡群

獅子の岩山の中腹に、建設当時は鏡の様に輝いていた、卵白と蜂蜜で上塗りされ、磨きあげられた帯びのようなオレンジ色の石灰の壁「ミラー・ウォール」が巡らされている。このミラー・ウォールの上の凹みから、伝承では、カッサパが父王の鎮魂滅罪の為に天女アプサラを描かせたとされる、フレスコ画のシギリヤ・レデイ（正式名は



※シギリヤ・ロックの入口巨石

the Sigiriya Maidens) が、イギリス人によつて発見され一躍歴史の表舞台に登場してきたのである。

今回の旅行中、全くの不摂生で、到着後二日目から、下痢と腹痛に悩まされて丸一日ツアーに参加出来ずに、一人でホテルのベットでの静養を余儀なくされた。三日目には、数日間ほとんど何も食べていない状態で、スリランカの至宝シギリヤ・レデイに憧れ、氣力を振り絞って峻険なシギリヤ・ロックをよじ登ったのである。

スリランカの真ん中に位置するハバラナでの宿泊先のリゾート・ホテルのチャヤー・ビレッジを出発して三〇分ほど走ると、突然巨大な茶褐色の岩山が目前に見えてきた。シギリヤロックである。花崗岩の岩肌がごつごつと盛り上がったこの山は、高さ約二百メートル。シギリヤの遺跡公園入口から、庭園や水路・噴水などの遺構を暫く歩くと、岩の麓に辿り着いた。外国人観光客を相手にする登攀サポーター（後から体を支えて押しつけてくれる）を頼んでみようかとも思っ

※シギリヤ・ロック中腹の城門跡

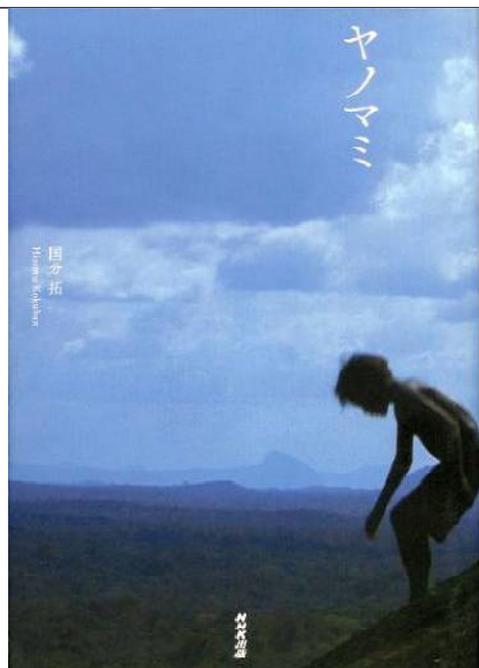


てもみたが、なんとか自力で登攀に挑戦した、ところどころに階段や梯子が設置されており普通の運動靴で登れた。古い落書きの詩（スリランカ最古の文学作品）が刻まれた「ミラーウォール」まで辿り着いた。このミラーウォールの真上、十数メートル登った岩肌のくぼみまで、金網で囲まれた狭い螺旋階段を登り、十人程度しか入れない狭い足場の中で、シギリヤ・レデイに対面できたのである。

足場に立ちすくむ訪問客を待ちかねたように、千年以上の時の移り変わりを見つめ続けていたであろう美女達。華やかな装身具で飾り、豊かな乳房を露わなシギリアレデイの表情は、柔和にして、そして優艶な微笑みをたたえ麗しい、スリランカ美術の最高傑作と言われる所以も納得できた。

そこから又少し登ったところに、獅子の跡を形どった、城門跡が残されている広場に辿り着いた。前足の間から、口の奥を抜けて山頂へ登る階段があつたとされるが、現存するのは、煉瓦で出来た足の爪先だけである。帰路戻る体力と氣力を考え、そこからの急勾配の階段をよじ登り頂上にある王宮の遺構の見学は、未練はあつたが断念した。

悲劇の王カッサパ一世に思いを寄せながら、涼しげな風の通る木陰で小一時間ほど横になって休んでいた。頂上まで登った家内をはじめとする仲間が下りてきて、異口同音に良かったとの感想を聞き及び、機会があれば、又訪れたいと窃かにシギリヤ・レデイに再会を約束して別れを告げた。



「ヤノマミ」 国分 拓著

NHK出版 ¥1700+税
 ブラジル北部のアマゾン川支流の森（北海道1.4倍の面積）に石器時代から1万年間変わらぬ生活をしている「ヤノマミ族」を150日間寝食を共に密着取材した第42回大宅賞を受賞した衝撃的内容のルポルタージュ

この「ヤノマミ」（人の意味）蒙古斑があつたり、顔貌も日本人に似ており不思議な親密感を覚える。十四歳の未婚の少女が妊娠・出産する場面は衝撃的内容であつた。女性が一人で、森の中で出産し赤ん坊を抱き上げて初めて『人間』として受け入れ、抱かなけれ『精霊』として天に還えされる。少女の出産の場面に立ち会つた筆者は、「おめでとつ、と声もかけたくなつた。だが、そうしようと思つた矢先、少女は僕たちの目の前で嬰兒を天に送つた。自分の手と足を使つて、表情を変えずに子供を殺めた。（中略）その翌日、子どもの亡骸は白蟻の巣に納められた。そして、白蟻がその全てを食い尽くした後、巣とともに燃やされた」（同書一八一頁）文明社会にどつ

ぷりと浸かつている我々の価値観や道徳観で、未開人の野蛮な行為と一瞥できるのであろうか？我が国では百万人以上の人が睡眠導入剤の助けを借りねば睡眠できない。ヤノマミにはそんな人は一人もいない。彼らの死生観や生き様は、『文明とは？』『人間とは？』人間の持つ残酷性、悲しみ、祖霊信仰にみるアニミズム等多くの命題を、投げかけてくる書籍である。
 我々僧侶が『罪悪深重』・『火宅無常の世界は、よろづのこと、みなもてそらごとたわごと』などと經典類を安易に引用して語る言葉の軽さを、本書を読んで改めて痛感したのである。NHKで放映されたドキメントラリー「ヤノマミ」がDVDでも販売されています。（四〇〇〇円）



修 勤 講 恩 報

平成24年11月9日（土）

午前10:00～

勤行・説教・おとぎ

特別ゲスト 春野恵子（浪曲師）

（曲師 一風亭初月）

『浪曲（ろうきょく）』
 三味線の伴奏で物語を語る演芸、浄瑠璃や説経節・祭文語り等がそのベースで、明治時代に大阪の浪花伊助の芸風から演者名で「浪花節」と言われた、後に「浪曲」と呼ばれるようになった。浪曲の世界では、「二声・二節・三啖呵」の言葉がある。又目の使い方、これが結構難しいとされる。曲師（三味線演奏者）の一風亭初月さんは、二代目春野百合子師の曲師をなさっていた方と聞いています。三味線の即興的な演奏（音楽的要素）も浪曲の一つの特色と言われている。

春野恵子

（東京都出身、東大卒、浪曲師）

十数年ほど前に一世を風靡したテレビ番組『進ぬ！電波少年的東大一直線』で、坂本ちゃんというお笑い芸人を大学に入学させる企画で家庭教師役のお茶目で、感情豊かなキャラクターで活躍されていた「ケイコ先生」をご存知でしょうか？

二〇〇三年TV業界での活動を自らの本意とせず、心機一転浪曲界の第一人者の二代目春野百合子師に入門。三年間の修業の後、二〇〇六年春野恵子として、衝撃デビューされ、現在上方を中心に浪曲のみならず、多方面でも精力的に活躍なされています。

編集後記

七月から毎日猛暑日です。お体ご自愛下さい。ライブで浪曲。報恩講にも是非ご参詣下さい。（住職）